

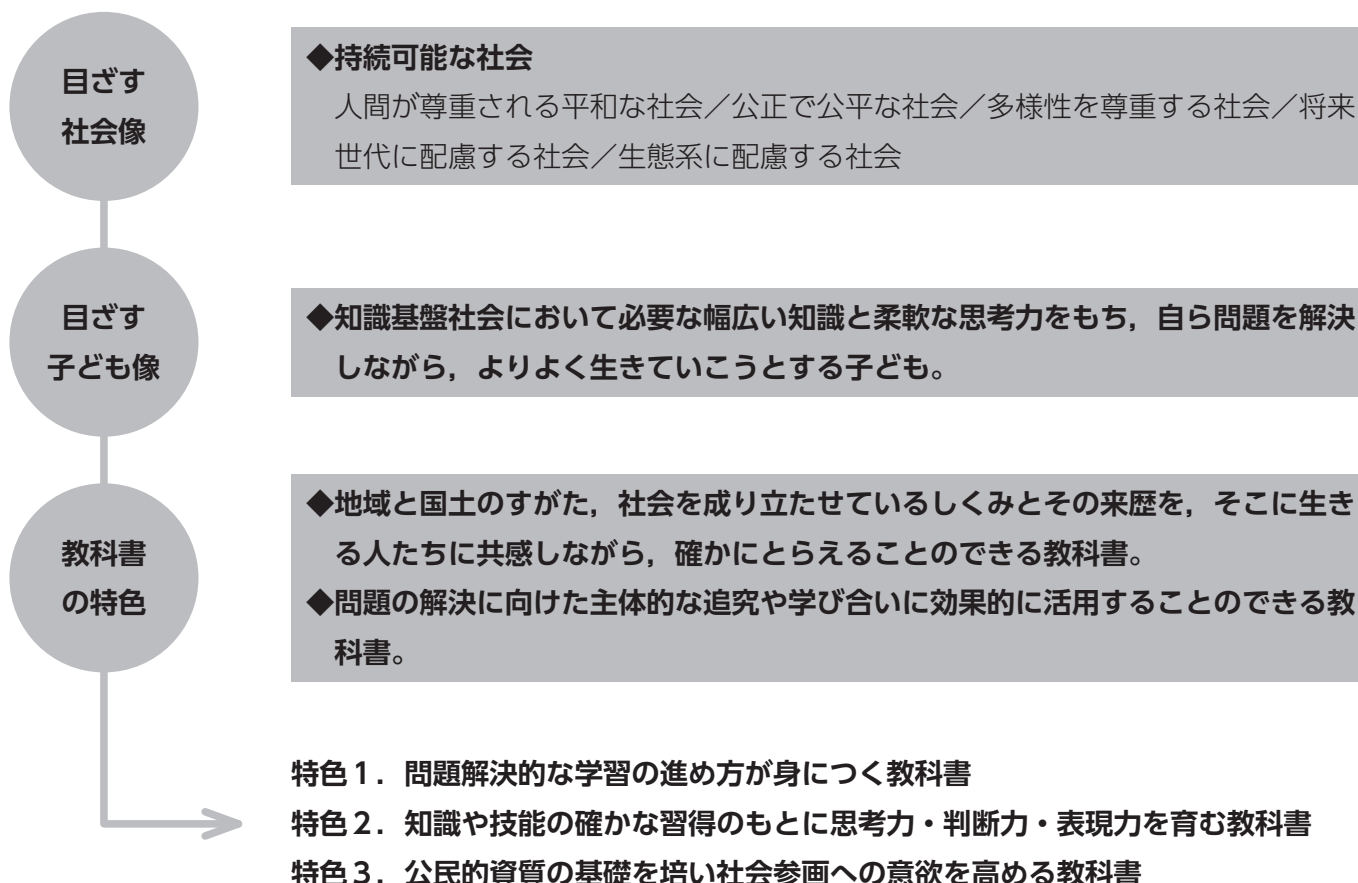
編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-90	小学校	社会科	社会	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 603	小学社会 6		

1. 編修の基本方針と特色

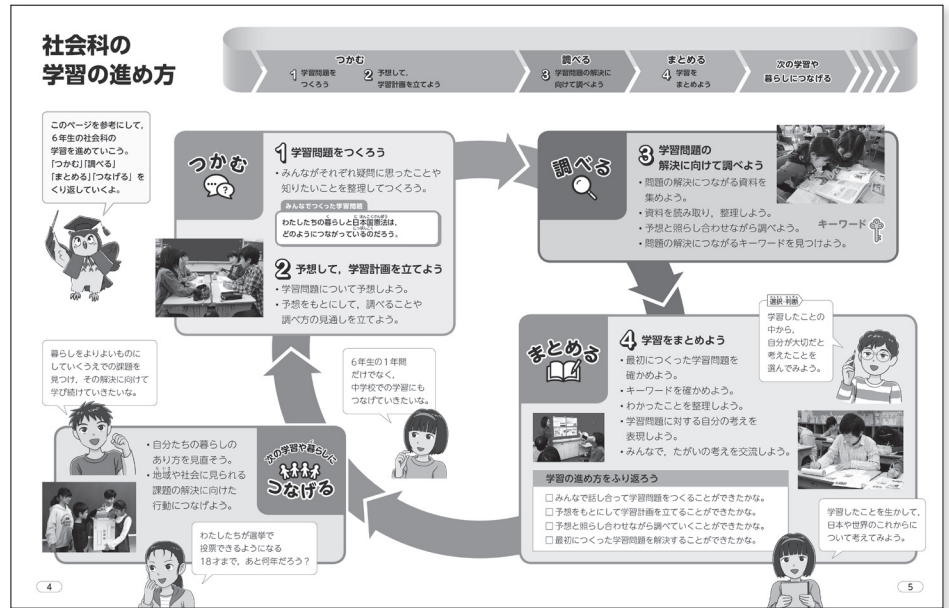
本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（第二条の第1～5号）」と、学習指導要領に示された「教科目標」を達成し、社会科のねらいである「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を育成する」ことを目指して、以下の方針に基づいて編修しています。



特色1. 問題解決的な学習の進め方が身につく教科書

▶社会科の学習の進め方 (p.4)

各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。そして、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくことを示唆しています。



- 身近な社会的事象との関わりの中から子どもたちが自ら問題を見だし、その解決に向けて考え合い、表現し合いながら主体的に追究していくことができる構成・展開にしています。
- 子どもが意欲を高めながら学習問題を追究していけるように、魅力的で価値のある導入教材を掲載しました。
- 追究の過程で子どもたちを適切に支援する技能や知識、設問などを配置し、より豊かで確実な学習成果に結びつけられるようにしました。

特色2. 知識や技能の確かな習得のもとに思考力・判断力・表現力を育む教科書

- 問題解決に向けた追究を進めていくうえで必要となる基礎的・基本的な知識や技能を明確にし、子ども自身がそれらを確認し、整理しながら身につけていけるようにしました。
- 必要な情報を集めたり、的確に読み取り解釈したり、効果的に表現したりする技能を、ステップ・アップを考慮しながらわかりやすく説明しています。
- 多様な表現活動を通して学んだことを共有化しながら、さらに思考を深めることができるようにしています。

特色3. 公民的資質の基礎を培い社会参画への意欲を高める教科書

- 文化財や文化遺産、先人の活躍に関わる内容を豊富に掲載し、それらを手がかりにして日本とその文化に対する理解を深め、愛情を育むことができるようにしました。
- 暮らしの改善や伝統的な文化の継承、持続可能な社会に向けて児童なりに選択・判断したり、地域や社会の「これからの発展」について考え合ったりする活動を通して、社会の変化に向き合い、主体的に参画していく力を育成します。
- 社会の成り立ちや人々の努力について理解を深め、「持続可能な社会」の実現に向けて考え、行動していくうえでの基礎を培うことができるようにしました。

2. 教育基本法との対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
全体		<ul style="list-style-type: none"> • 学習の問題をつくり見通しを立てる場面を丁寧に例示し、問題解決的な学習の進め方に対する理解を深めて自ら取り組むことができるようにしました。〈第1号〉 • 児童や学習の状況に応じて柔軟に活用できる「ひろげる」のページを適宜設け、新たな知識を増やしたり学習を深めたりすることができるようにしました。〈第1号〉 • 勤労やボランティアなど、社会の中でそれぞれ役割を果たしている人々の思いや願いなどを適宜紹介し、それらを共感的に理解しながら社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。〈第2号〉 	<p>p.14-15, p.78-79, p.182-183, p.218-219 など</p> <p>p.62, p.87, p.105, p.115, p.137, p.149, p.163, p.164など</p> <p>p.37, p.59, p.60, p.257, p.261など</p>
巻頭：前の学年をふり返ろう 社会科の見方や考え方 ノートで「学びのあしあと」を残そう 社会科の学習の進め方		<ul style="list-style-type: none"> • 前学年（第5学年）の代表的な学習場面を想起させるコーナーを設け、第6学年への接続がスムーズに図れるようにしました。〈第1号〉 • 「社会的な見方・考え方」を、児童の問いや発言の形で例示したコーナーを設け、それらの見方・考え方を使った学習を意識して進めることができるようにしました。〈第1号〉 • 社会科の学習におけるノートの有効活用例を示し、対話的な学びや深い学びにつなげることができるようにしました。〈第1号〉 	<p>p.2</p> <p>p.3</p> <p>p.3</p>
1 と も こ の 生 活 を め か ら せ る こ と と 政 治	1 憲法とわたしたちの暮らし	<ul style="list-style-type: none"> • 単元の導入にオリンピック・パラリンピックに関わる内容を位置づけ、多様な人々が共生している世界のあり方について関心や興味を高めながら学習を進めていくことができるようにしました。〈第3号〉 • 日本国憲法の基本的な考え方や、日本の政治の基本的なしくみについて関心や問いをもち、各種の資料を活用して追究を進めながら、政治に関わる知識や教養の基礎を培うことができるようにしました。〈第3号〉 • ユニバーサルデザインや障害者差別解消法に関わる内容を位置づけ、すべての人々の人権を尊重する社会を形成していくことの重要性を認識できるようにしました。〈第3号〉 • 選挙権の18才への引き下げに関わる内容を位置づけて、将来の選挙権の行使に向けて関心を高めたり、主権者としての意識を高めたりすることができるようにしました。〈第3号〉 	<p>p.6-9</p> <p>p.10-45, p.48-61</p> <p>p.10-11, p.15, p.19, p.23, p.31など</p> <p>p.4, p.16, p.31, p.47, p.230, p.273</p>

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
		<ul style="list-style-type: none"> 国民としての義務を認識し、社会を形成していく一員としての自覚を高めることができました。(第3号) 法もとの平等の観点から、男女平等の重要性について認識できるようにしました。(第3号) アイヌの人たちが独自の文化の継承や先住民族としての権利を守ることに自ら取り組んできたことや、そうした取り組みを通して我が国の法律などが整えられてきたことについて認識することができるようにしました。(第3号) 選挙や裁判員制度などを通して国民が政治に参加していることについて重点的に取り上げ、主体的に社会の形成に参画することの重要性に気づくことができるようにしました。(第3号) 	<p>p.18-19, p.28-29</p> <p>p.18-19</p> <p>p.18-19</p> <p>p.16-17, p.22-23, p.26-27など</p>
	2 わたしたちの暮らしを支える政治	<ul style="list-style-type: none"> 社会の再生産を担う家族・家庭の機能・役割を踏まえ、少子化・高齢化や人口の減少を日本が直面する大きな課題であると位置づけ、その対策や解決に向けた政治の取り組みを取り上げました。(第3号) 日本の選挙における投票率の推移を調べて課題を見いだしたり、模擬投票を体験したりする学習を位置づけて、将来の選挙権の行使に向けて関心を高めたり、主権者としての意識を高めたりすることができるようにしました。(第3号) 自然災害から命や暮らしを守るためには、「自助・共助・公助」がそれぞれ重要であることを取り上げ、一人一人の自覚と責任について考えることができるようにしました。(第3号) 	<p>p.32-45</p> <p>p.46-47</p> <p>p.55</p>
2 日本の歴史	特設：歴史の学び方をナビゲーション！ 歴史年表 日本列島歴史の旅に出かけよう 1 国づくりへの歩み 2 大陸に学んだ国づくり 3 武士の政治が始まる 4 室町文化と力をつける人々 5 全国統一への動き 6 幕府の政治と人々の暮らし 7 新しい文化と学問 8 明治の新しい国づくり 9 近代国家をみざして 10 戦争と人々の暮らし 11 平和で豊かな暮らしをみざして	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の史跡や遺跡を手がかりに日本の歴史について調べる学び方を紹介し、日本の伝統や文化について児童が興味・関心をもって学習することができるようにしました。(第5号) 「国宝」「重要文化財」「世界遺産」の数々の写真資料を掲載して、該当する資料にはマークを付し、代表的な文化遺産に着目しながら伝統や文化に対する理解を深めることができるようにしました。(第5号) 日本の文化が維持・継承されてきた過程や、身近な暮らしの中にも受け継がれている伝統文化について多く取り上げ、我が国の伝統や文化について理解を深めることができるようにしました。(第5号) 生産を高めるための人々の工夫や努力が、日本の歴史を発展させてきた原動力の一つであることをとらえることのできる教材を適宜取り上げました。(第2号) 日本の歴史の中での異文化との交流についても積極的に取り上げ、自国の文化への理解を深めるとともに、他国の文化も尊重する相対的な視点を身につけることができるようにしました。(第5号) 環境の保全という観点から江戸時代の生活様式を紹介することで、過去の事象にも学びながら、生活と環境について考えを深めることができるようにしました。(第4号) 戦後、我が国と近隣諸国の友好関係が発展してきたこととともに、北方領土や竹島、尖閣諸島をめぐる課題があることにも触れて、我が国をめぐる国際関係を多面的にとらえることができるようにしました。(第5号) 歴史の学習で学んだことを生かして、少子化・高齢化や人口の減少などの我が国の社会的課題の解決に向けて児童なりに主体的に考えて表現する学習活動を位置づけました。(第3号) 	<p>p.68</p> <p>p.73など</p> <p>p.101, p.116-123, p.154-155など</p> <p>p.122, p.156など</p> <p>p.98-99, p.130-131, p.146など</p> <p>p.163</p> <p>p.226-227</p> <p>p.230-231</p>

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
3 世界 の中 の 日本	1 日本とつながりの深い国々	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料を用いながら国旗・国歌について取り上げ、自国はもちろんのこと、他国の国旗・国歌も尊重する態度を養うことができるようにしました。〈第5号〉 	p.232-233
	2 地球規模の課題の解決と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 在日外国人の人々とともに地域社会をつくっている地域の事例を取り上げ、多国籍・多文化社会化の進行について認識を深めることができるようにしました。〈第3号〉 国際社会の中で、他者と協力しながら問題解決に取り組んでいる日本人のはたらきを取り上げ、公共の精神や社会の発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 さまざまな理由によって人々の生命や健康がおびやかされている世界各地の事象や、その改善のために多くの国や人々が活動していることを取り上げ、生命の尊重について考えを深めることができるようにしました。〈第4号〉 地球環境の現状や、その改善に向けてのさまざまな取り組みを具体的に取り上げ、持続可能な社会のあり方について考え、将来にわたって自らのとるべき態度について考えを深めることができるようにしました。〈第4号〉 	p.247, p.253 p.256-259, p.261, p.266 p.256-268 p.264-265, p.270-271

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

◇ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

◇パラリンアート

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、各学年の巻頭（もくじ）では、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

◇地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。また、印刷には再生可能エネルギーであるグリーン電力を使用し、地球環境への負荷の軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-90	小学校	社会科	社会	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 603	小学社会 6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 問題解決的な学習に関わる特色

① 問題解決的な学習の進め方をわかりやすく例示

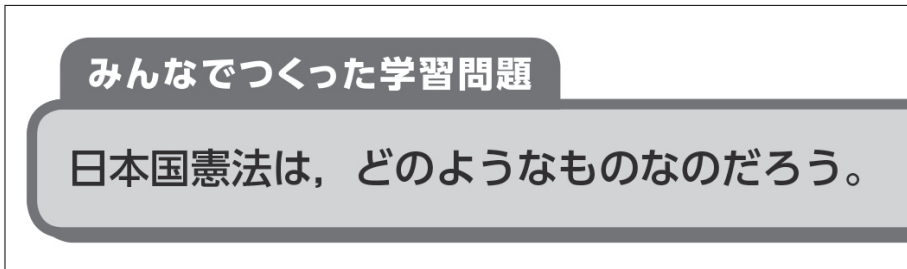
各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。見通しをもって主体的に学習を進めていけるようにしています。

また、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくものであることも示唆しました。

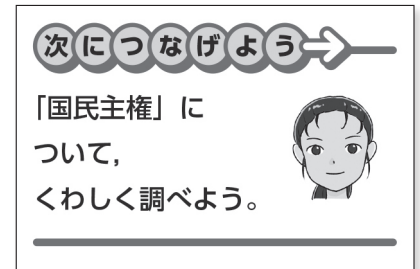
② 一貫した追究を支える「問い」

単元を通して追究していく問いを「みんなでつくった学習問題」として明示しました。

学習問題の解決に向けた各単位時間の中心となる問いは、「この時間の問い」として明示しています。



▲p.14

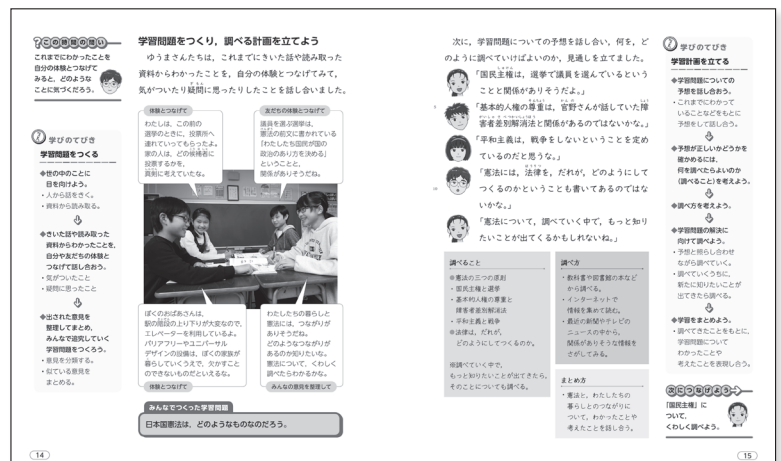


▲p.15

③ 学習問題をつくり、追究の見通しを立てる場面をていねいに例示

「社会的な事象と出会う→気づきや疑問を交流して学習問題をつくる→予想をする→調べること・調べ方の見通しを立てる」という一連の流れを、ていねいに例示しています。

児童から引き出したい発言は、会話文やふき出しで例示しています。例示に際しては、第6学年の発達段階を考慮した児童の思考の自然な流れを重視しています。



▲p.14-15

④ 問いをつなげて思考の深まりを促す「次につなげよう」

▶p.139

各見開きの末尾に「次につなげよう」を置いています。各時間の学習が、次の時間の中心となる問いに自然につながるようにしています。単元を通じた追究の連続や思考の深まりを促します。

次につなげよう

とくがわいえやぶ 徳川家康は、戦いに勝って全国の大名を従えたんだよね。

江戸幕府は、そのあと、どのようにして大名を従えたのかな。

⑤ 追究の過程を、わかりやすく、ていねいに支援

問題を解決していくうえで必要な学習技能を「学びのてびき」として適宜、紹介しています。技能の活用を通して、「社会的な見方・考え方」を使った学習の意識化が図られるようにしています。

また、ポイントとなることばや概念を、「キーワード」として明示して、追究を促します。

キーワード

せい たい しょう ぐん 征夷大將軍

解説 もとは、東北地方に住む人々を武力で従わせる役職のことでしたが、頼朝が任命されてからは、武士のかしらのことをさすようになりました。

▲p.110

学びのてびき

米づくりの広まりによる変化を想像図から読み取る

◆見つけよう

- 人々は何をしているだろう。
- どんな建物や道具があるだろう。

◆比べよう

- 縄文時代とちがうところはどこだろう。
- 縄文時代と似ているところはどこだろう。

◆考えよう

- 変化したのは、なぜだろう。

▶p.77

日本国憲法の考え方や、憲法にもとづく政治のほらきについて、具体的に確かめたいと思ったひらとせんたちは、調査者差別評議を例に考えてみることにしました。

① 憲法や政治のほらきについて、調査者差別評議を例に考えよう。

調査者差別評議とは、調査者の職業や性別、年齢、宗教、政治信条、国籍、民族、言語、障害の有無、性別、性傾向、性自認、その他の属性を理由として、調査者差別評議を禁止し、調査者差別評議を禁止する法律を制定することです。

調査者差別評議とは、調査者の職業や性別、年齢、宗教、政治信条、国籍、民族、言語、障害の有無、性別、性傾向、性自認、その他の属性を理由として、調査者差別評議を禁止し、調査者差別評議を禁止する法律を制定することです。

国民の暮らしと政治とのつながりや、三種分立のしくみを、図にまとめました。

② 暮らしと政治とのつながりや、三種分立のしくみを、図に表そう。

できあがった図を見ながら、国民はどのようにして自分たちの意思を政治に反映させているかを考えよう。レポートにまとめよう。

③ わたしたち国民は、どのようにして自分たちの意思を政治に反映させているだろう。上の図を使って説明しよう。

国民の暮らしと政治とのつながりや、三種分立のしくみを、図に表そう。

▲p.30-31

⑥ 追究の帰結をしっかりと確かめる

小単元の末尾には「まとめる」を位置づけました。学習問題やキーワードを再掲して、学習をふり返ることができるようにしています。

調べてきたことを関係図などに整理し、それを見ながら対話的な学習を行うことを通して再構成や定着が図られ、深い学びにつながるようになっています。

⑦ 「社会的な見方・考え方」を使った学習を具体的に例示

「学びのてびき」のコーナーなどで、社会的な見方・考え方を使った資料活用を、適宜示唆しています。また、学習を通して使った「見方・考え方」のふり返りも、適宜示唆しています。

前方後円墳の分布と、規模の大きい古墳の数を埼玉県と熊本県の古墳からは、5世紀の中ごろに大和朝廷の大王だったフカケルの名前がぎざぎざ刻が見つかっています。

前方後円墳古墳の長さ
■ 300m以上
■ 150~300m未満

学びのてびき 古墳の広がりや出土品から考える

◆読み取る

- どのあたりに古墳が集中しているだろう。

◆考えよう

- 古墳が集中している地域があるのはなぜだろう。
- 埼玉県と熊本県の出土品から、どんなことがわかるだろう。

◀p.85

学びのてびき

人口や暮らしの今後をグラフから考える

◆棒と折れ線のそれぞれについて、変化のしかたを読み取り、どんなことがいえるかを考える。

◆二つのグラフの変化のしかたを関連づけると、今後、日本の人口や人々の暮らしはどのようにと予想できるかを考える。

◀p.33

▼p.31

見方や考え方をふり返る

日本の政治のしくみや国会・内閣・裁判所の関わりなどに注目して調べたね。

2 各単元の特徴

◇ 巻頭

- 前の学年をふり返ろう 第5学年の社会科で学習した内容や技能、追究の方法をふり返り、第6学年の学習に生かしていくことを促します。(p.2)
- 社会科の見方や考え方 社会的な見方・考え方を、子どもの問いや発言のかたちで例示したコーナーを設け、社会的な見方・考え方を使った学習を意識して進められるようにしました。(p.3)
- ノートで「学びのあしあと」を残そう 社会科の学習におけるノートの有効活用例を示し、対話的な学びや深い学びにつなげることができるようにしました。(p.3)
- 社会科の学習の進め方 問題解決的な学習の進め方を示した見取り図を掲載しました。(p.4-5)

1. とともに生きる暮らしと政治

● 単元の導入は「オリンピック・パラリンピック」に関わる内容

単元の導入部には、オリンピック・パラリンピックの成り立ちや歴史に関わる資料、パラリンピックに日本代表の一人として参加した選手の話に掲載しました。世界的なスポーツの祭典が行われることの意義や、障がいのある人の思いや願いについて考えながら、多様な人々が共生する社会への参画に向けた問題意識や関心を高めつつ、憲法や政治の学習に進むことができるようにしています。(p.6-11)

◀p.7



●パラリンピックとは

パラリンピックは、障がいのあるスポーツ選手たちの世界的な競技大会で、「もう一つのオリンピック」ともよばれます。

パラリンピックの起源は、第2次世界大戦で負傷した兵士たちの治療の一として、病院の中で行われたスポーツ競技会にあります。この競技会は回を重ね、1952年に国際大会へと発展しました。1960年に開催されたこの国際大会が、第1回のパラリンピック競技大会であるとされています。

●現在のパラリンピックのシンボル

青・赤・緑の3色は、世界の国旗でも多く使われている色であることから選ばれました。


●オリンピックとは

オリンピックの起源は、今から約2800年前、ギリシャのオリンピアで始まった競技大会にあるとされています。この競技大会は、西暦400年ごろには行われなくなりました。1894年、フランスの教育者であるクーベルタンは、オリ



●クーベルタン (1863～1937年)

◀p.9



●ウィルチェアーラグビーの選手である官野一彦さんの話

わたしは、子どものころからスポーツが大好きです。22歳の時、サーフィンをしている最中に事故にあい、歩くことができなくなり、車いすの生活が始まりました。

車いすの生活は、なにかと不便で、周りの目もはじめは気になりましたが、心豊かに自由に生きることに力をつけたいと気持ちを切りかえました。

そんな時に出会ったのが、ウィルチェアーラグビーです。車いすどうしが激しくぶつかり合う迫力に、わたしは圧倒され、ひきつけられてしまいました。

ウィルチェアーラグビーは、障がいの程度に応じて一人一人が得意を生かし、チームが一丸となって戦うスポーツです。

おたがいをよく理解し合い、それぞれができることを生かし、支え合っていくことは、スポーツに限らず大切なことだと思います。

● 障害者差別解消法にそくして「憲法」と「政治のしくみ」を学習

障害者差別解消法を手がかりにして基本的人権について考えたり、この法律が成立するまでの国会の審議の流れを調べたりしながら、憲法と政治のしくみの学習をより具体的に進めることができるようにしています。(p.11, 15, 19, 23, 31)

● 少子化・高齢化、人口減少をめぐる課題の解決を事例に学習する「政治のはたらき」

政治のはたらきについては、我が国が直面している少子化・高齢化、人口減少をめぐる課題を位置づけて、その解決に向けた行政による子育て支援やその成立の過程などについて調べながら、より具体的に学習することができるようにしました。(p.32-45)

- 選択して学習できる「政治のはたらき」 学習指導要領（および解説）に示された選択肢の中から、「子育て支援」（東京都世田谷区）を主として扱い、そのほかにも「自然災害からの復旧や復興」（岩手県釜石市）、「地域経済の活性化」（北海道札幌市）を取り上げて、それらの中から選んで教科書を活用することができるようにしました。(p.32-45, p.48-55, p.56-61)

● 18才に向けて主権者意識や参画意欲を高める特設ページ

選挙権を行使できる年齢である18才を意識させる内容を、教科書の随所に位置づけました。(p.4, 16, 31, 47ほか) また、投票率をめぐる課題について考えたり、模擬投票の活動場面を紹介したりして社会参画に向けた関心や意欲を高める特設ページを設けました。(p.46-47)

2. 日本の歴史

● 政治先習を生かす歴史単元の導入 歴史単元の導入に、参政権が歴史的に拡大してきたことを写真資料などの読み取りから気づかせる学習場面を設けました。政治を先に学習した児童が、その問題意識を持続させ、人々の暮らしの願いや政治のしくみの移り変わりに関心向けながら歴史の学習へと進むことができるようにしています。(p.64-67) また、歴史単元の最後は、選挙権の拡大の歴史を振り返り、その時々々の社会の課題を解決してきた先人から学んだことを意見文に表して交流する対話的な学習を位置づけています。(p.230-231)

▶ p.64



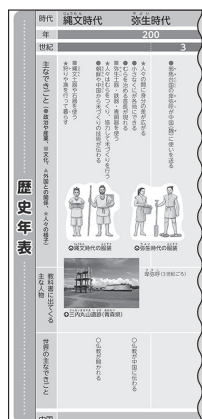
▲ p.230

● 歴史学習の基本的な技能を解説した「歴史の学び方をナビゲーション！」

歴史単元の導入に、身近な遺跡や史跡に関心に向けたり、歴史博物館を活用したりする活動場面を位置づけました。ここでは、絵画や写真などの画像資料や年表を活用した学び方についても解説し、これから始まる歴史学習に向けて興味や関心を高めたり、くり返し活用していく学習技能を学んだりすることができるようにしました。(p.68-73)

● ワイドでビジュアルな「歴史年表」と「日本列島歴史の旅に出かけよう」

歴史単元の導入に、歴史年表を位置づけました。折り込み・見開きのワイドな年表の中に、各時代の人々が着ていた衣装のイラストや、主な文化財の写真も掲載し、資料性を高めました。年表の裏面には、日本列島の古くから今に至るまでのできごとや人物、歴史的な建築物などを描いたイラストマップを掲載し、児童が興味や関心を高めて歴史の学習を進めることができるようにしています。(p.70-72)



▶ p.70

▶ p.72



- **児童や指導に合わせて様々に活用できる「ひろげる」** 特設の資料ページである「ひろげる」は、児童の興味や関心に応じて読ませたり、指導の中に組み入れたりして活用することができます。歴史単元では、当時の世界との関わりについて、人物やできごとなどを通して知見を広げることのできる内容を多く取り入れています。(p.62-63, 87, 105, 115, 137, 149, 163, 164-165, 179, 198, 199, 215, 229, 254-255)

3. 世界の中の日本

- **国旗と国歌の学習を位置づけた単元の導入** 単元の導入は、オリンピック・パラリンピックの写真の読み取りを通して、世界各国の文化や習慣への関心が高まるようにしました。また、国旗と国歌に関わる内容も単元の導入に位置づけています。(p.232-233)
- **世界の国々はアメリカ・中国・ブラジル・サウジアラビアから選択** 4か国を取り上げて、それらの中から児童が選んで活用できるようにしました。多民族からなる国や、宗教と生活習慣に関わりがみられる国などを含めて構成し、さまざまな人々が共生・共存している世界のあり方に対する理解が深まるようにしました。(p.234-253)

◇ 巻末

- **6年生の学習をふり返ろう** 学習内容や学習過程、「社会的な見方・考え方」についてふり返るとともに、中学校の地理・歴史・公民の学習への接続の視点を示した特設ページを設けました。(p.272-273)

2. 対照表

教科書（第6学年）の単元構成	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 とともに生きる暮らしと政治	(1)	p.6-63	20
1 憲法とわたしたちの暮らし	ア (ア), ア (ウ), イ (ア)	p.10-31	⑫
2 わたしたちの暮らしを支える政治	ア (イ), ア (ウ), イ (イ)	p.32-47	⑧
2 災害からわたしたちを守る政治 (せんたく)	ア (イ), ア (ウ), イ (イ)	p.48-55	—
2 雪とともに生きる暮らしを支える政治 (せんたく)	ア (イ), ア (ウ), イ (イ)	p.56-61	—
2 日本の歴史	(2)	p.64-231	67
1 国づくりへの歩み	ア (ア), イ (ア)	p.74-89	⑧
2 大陸に学んだ国づくり	ア (イ), ア (ウ), イ (ア)	p.90-104	⑦
3 武士の政治が始まる	ア (エ), イ (ア)	p.106-114	④
4 室町文化と力をつける人々	ア (オ), イ (ア)	p.116-123	④
5 全国統一への動き	ア (カ), イ (ア)	p.124-136	④
6 幕府の政治と人々の暮らし	ア (キ), イ (ア)	p.138-148	⑤
7 新しい文化と学問	ア (ク), イ (ア)	p.150-162	⑥
8 明治の新しい国づくり	ア (ケ), イ (ア)	p.166-178	⑥
9 近代国家を目ざして	ア (コ), イ (ア)	p.180-197	⑨
10 戦争と人々の暮らし	ア (サ), イ (ア)	p.200-214	⑦
11 平和で豊かな暮らしを目ざして	ア (シ), イ (ア)	p.216-231	⑦
3 世界の中の日本	(3)	p.232-271	18
1 日本とつながりの深い国々	ア (ア), ア (ウ), イ (ア)	p.234-253	⑪
2 地球規模の課題の解決と国際協力	ア (イ), ア (ウ), イ (イ)	p.256-271	⑦
		計	105